

ネイティブペーカリー酵母 (*S. cerevisiae*) ピルビン酸脱炭酸酵素

Cat. No. NATE-0510

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 ピルビン酸デカルボキシラーゼ (PDC) は、細胞質内でピルビン酸をアセトアルデヒドと二酸化炭素に脱炭酸する触媒作用を持つホモテトラマー酵素です。ピルビン酸デカルボキシラーゼは、補因子であるチアミンピロリン酸 (TPP) とマグネシウムに依存しています。PDCは β - α - β 構造を持ち、平行な β シートを形成します。

用途 ピルビン酸デカルボキシラーゼ (PDC) は、チアミンピロリン酸 (TPP) 結合に関与する残基を研究するために使用されます。これは、植物種における発酵経路の調節を研究するために使用されます。

別名 ピルビン酸デカルボキシラーゼ; EC 4.1.1.1; α -カルボキシラーゼ (あいまい); ピルビン酸デカルボキシラーゼ; α -ケト酸カルボキシラーゼ; 2-オキソ酸カルボキシ-リアーゼ; 9001-04-1; 2-オキソ酸カルボキシ-リアーゼ; PDC

製品情報

由来 ペーカリー酵母 (*S. cerevisiae*)

形態 硫酸アンモニウム懸濁液; 3.2 M (NH₄)₂SO₄ pH 6.5の懸濁液で、5% グリセロール、5 mM リン酸カリウム、1 mM 酢酸マグネシウム、0.5 mM EDTA、および 25 μ M コカーボキシラーゼで安定化されています。

EC番号 EC 4.1.1.1

CAS登録番号 9001-04-1

活性 5.0-20.0 ユニット/mg タンパク質 (ビウレット)

単位定義 1ユニットは、25°CでpH 6.0の条件下で1.0 μ moleのピルビン酸をアセトアルデヒドに交換します。

保管・発送情報

保存方法 2-8°C